



耐久高等学校同窓会報

耐久



関西耐久会令和特別企画
「濱口梧陵を訪ねて」
令和元年6月2日



県指定史跡「耐久社」前にて

NO. 44



令和元年度 全国大会出場クラブ激励金 贈呈

7月2日(火) 13時30分、全国大会出場クラブの代表者に、大西同窓会長と笹井校長より、激励金とともに健闘を祈念するエールが贈られた。各代表者は大会に臨むそれぞれの決意を力強く述べた。

○バドミントン

・全国高校総体 男子団体・女子団体

・全国高校総体 男子・シングルス・ダブルス

・全国高校総体 女子・シングルス・ダブルス

男8名
女8名 (熊本県)

○囲碁将棋

・全国高校囲碁選手権大会

3名 (東京都)

・全国高校総合文化祭

1名 (佐賀県)

○マンドリン

・全国高等学校ギター・マンドリン

音楽コンクール 14名 (大阪府)

・全国高校総合文化祭

14名 (佐賀県)



NHKのど自慢 森本 鈴さん 見事優勝!!

6月9日(日) TV生放送

ほんの軽い気持ちで応募した一枚のハガキが、まさかこんなことになると思ってもいませんでした。今は「大変なことをやり



かしてしまっただけというのが正直な気持ちです。耐久高校の制服を着てテレビ出演させてもらえたことは本当にありがたいことです。すばらしい経験と一生の思い出をいただくことに感謝いたします。

3-3 森本 鈴

新着任あいさつ

全日制教頭 亀井 真竜



人事異動により海南高等学校海南校舎から耐久高等学校教頭に着任しました。4月来、生徒との出会い、教職員との協働、そして校舎・校庭が醸し出す雰囲気等から、耐久高校が持つ魅力と、それを支える歴史と伝統を感じているところです。

本校は、生徒一人一人を大切に、将来にわたって物事の本質を見極め、確かな行動ができる、高い品格と活力を兼ね備えた耐久生を育成することを目標に教育活動を展開しています。平成27年度から取り組みが始まった学校再生計画も、令和の時代となった今、第2ステージをむかえています。学習活動に主体的に取り組むとともに、学校行事やクラブ活動にも積極的に参加し、バランスのとれた充実した高校生活が実現できるよう努めています。

学校には、勿論、フオーマ

ルなカリキュラム(教育内容)も準備されていますが、耐久

高校には、それに加えて「隠れたカリキュラム」がしっかりと

りと備わっていると感じてい

ます。耐久社に始まる歴史と

伝統、そして多くの同窓生の

方々や地域の方々を支えられ

た本校が持つこの教育力を効

果的に活用していくことが大

切であると考えています。微

力ではありますが、本校の教

育活動に力を尽くして参ります。どうかよろしくお願

いします。

ます。

新着任あいさつ

定時制教頭 山本 有作



社会で活躍するという希望と

覚悟を持って卒業式に臨む一

人一人の表情に感動したこと

を覚えていきます。

さて、今年度定時制課程の

生徒数は1年生から3年生ま

で合わせて15名でスタートし

ました。1学期は新入生歓迎

会をはじめとして、進路講演

会、人権学習、地域学習等の

活動を行いました。2学期は

さらに新しい取組を企画して

いるところです。このような

取組を充実させていくことで、

仲間作り、幅広い知識の習得、

コミュニケーション能力の育

成を目指していきたいと考えて

います。

職員人事異動

川久保尚志 全日制教頭

↓ 伊都中央高校校長

假谷園耕治 定時制教頭

↓ 日高高校中津分校教頭

井原 茂 教諭(理科高32期)

↓ きのくに青雲高校教諭

元田 雅一 事務主査

↓ 箕島高校事務主査

有田耐久会

第1回有田耐久会ボーリング大会

会員の親睦行事として長年にわたり計画してきた大会がやっと実現しました。



有田地方にはボーリング場がなくなり御坊での開催となりました。

当日は諸行事等が重なり参加者が10人となりました。

ほとんどの人は数十年ぶりというものでしたが意外にも2ゲームで350近いスコアも出ました。

過去の娯楽というイメージですが久しぶりにみんな楽しいひと時を過ごすことができました。

ちなみに優勝は榎野裕明さん、ブービー賞は……でした。

有田耐久会会長 和泉 保廣 (高22期)

第21回有田耐久会ゴルフコンペ

平成31年3月13日(水)29名の参加をいただき、有田東急GCにて標記コンペを開催いたしました。

優勝は萬ヶ谷哲氏(44年卒業)、ベスグロは田尻満男氏(37年卒業)でスコアは84でした。

有田耐久会設立に伴い、活

動の一環として年2回ゴルフコンペを開催していますが、次回(9月19日(木)開催予定)からは新幹事として大西和彦氏(52年卒業)にお世話いただくことになりました。今後ともご協力よろしくお願いたします。ちなみに大西和彦氏は第1回のコンペでホールインワンを達成されています。

柏原 政夫美 (高19期)

同窓会本部及び有田耐久会 総会のご案内

- とき 令和元年9月22日(日)
- ところ 湯浅町地域福祉センター (湯浅町道町北)
- 受付 10:30
- 第一部 11:00 ~ ミニコンサート
ファミリーコーラス「ほほえみ」
- 第二部 11:40 ~
事業報告・役員改選・他
- 懇親会 12:30 ~ 15:00 会費 2,000円

同窓会活動報告

2019(H31・R元)年

- 3. 1 卒業証書授与式
- 5. 15 本部・有田耐久会合同役員会(本校)
- 26 関東耐久会総会(ホテルメトロポリタン池袋)
……校長・会長・有田耐久会会長
- 6. 9 なぎの木の手入れ作業…有田耐久会・本部役員
- 21 同窓会役員・学校歓迎会
- 23 有田耐久会ボーリング大会
- 25 会報編集委員会(本校)
- 29 県同窓会連絡協議会総会(きびドーム・鮎茶屋)
- 7. 2 全国大会出場クラブ激励金贈呈(本校)
- 17 本部・有田耐久会合同役員会(本校)
- 8. 8 会報編集委員会(本校)

チコちゃんと同じ5歳になりました

20センチの身長でここ広村堤防緑地に友達とやってきました。

同窓会のみなさんが初夏の暑い中、下草刈り、



肥料・水やりなど面倒をみてくれました。お陰で多少の差はありますが150センチほどまでに育つことができました。

昨年の台風21号の暴風雨で堤防の大きな松の木が何本も倒れ大変なありさまでした。幸い背が低かったこともあり倒木に接触することなくみんな無事でした。

さて、樹木に詳しい人によると5年たてばもう一人立ちできるとのこと。

長年お世話頂きましたが、これからは梧陵の地で仲間、そして先輩のなぎの木のみなさんと精いっぱい生きていきます。

支 部 連 絡 先	和歌山耐久会	関西耐久会	関東耐久会	有田耐久会
	会長 西 博 義 〒640-8321 和歌山市岩橋 1690-47 Tel 073-475-2677	会長 地 引 民 子 幹事長 宮 崎 裕 子 〒563-0017 大阪府池田市伏尾台 3-8-1 Tel 072-753-1219	会長 林 紀 男 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12-1002 株式会社 オフィスココ 桜パンケット Tel 03-3359-9520	会長 和 泉 保 廣 〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅 1985 耐久高等学校・同窓会事務局 Tel 0737-62-4148

特集

濱口梧陵生誕二〇〇年記念特集 Ⅱその三Ⅱ

地震・津波防災の継承と創造

〜濱口梧陵翁の偉業の継承〜



清水 勲

津波防災の町 広川町

わが国は毎年のように自然災害が多いため「災害大国日本」とも云われている。中でも同一地帯での地震・津波の来襲は、五〇年から百年に近い周期のため、その再来は子や孫の代となり「災害は忘れた頃にやってくる」とよく云われる。その為、一般住民にとっ

ては地震・津波はいつ起きるかかわからないだけに、過去の災害の歴史に学び、各自防災意識を高め、その継承活動等を通してその対策を十分身につけておかなければならない昨今でもある。

時は、安政元年十一月四日(旧暦)、安政東海地震(M8.4)が発生、その32時間後の五日(旧暦)の夕刻、安政南海地震(M8.4)津波が発生。丁度銚子からふるさと広村に帰っていた梧陵はこの地震・津波にどう対処したかは読者の皆さんも十分ご存じだと思われるので割愛する。

ところで、このような濱口梧陵についての私の語り部や講演活動等において、「濱口梧陵翁と言えは何を最初に連想しますか？」と問いかけると、昭和一代(現在90歳前後)の人達の殆どは昔学校で学んだ「稲むらの火」という言葉が返ってくる。他の教材は忘れたが「稲むらの火」だけは覚えていてと口々に説明してくれる。こうした風潮に立ち、平成九年一月、広川町が役場前の正面を「稲むらの火広場」としたこと、その広場に松明をかざして津波避難を呼びかける梧陵の銅像が建立されているのをご存知だろうか。



松明をかざす梧陵像(役場前広場)

この銅像は言わば津波防災の原点と言っても過言ではあるまい。

「稲むらの火」誕生までの歩み

「稲むらの火」誕生まで少なくとも三人の先覚者がいる。地震学者今村明恒地震学博士、外国から来日してきたラフカディオ・ハーン(後の小泉八雲)、そして中井常蔵先生である。

今村明恒は一八七〇年(明治三年)鹿児島市に生まれ、小さい時から物理学が好きで高校を出て東京帝国大学の理科大学に進学。同大学を卒業後、明治二八年帝国大学から理科大学副手を務め、地震についての数々の理論を発表した。

東京大震災発生の予告

今村博士はこれまでの江戸での地震発生の統計をもとに、一九〇六(明治三九)年、「近い将来、東京大震災が発生する」ということを予知した。上

司の大森教授から浮説と批判されたが、それから十七年後の一九二三(大正一二)年九月一日「関東大震災」が発生。死者・行方不明者約一四万二千人、家屋焼失四四万七千戸の大災害となった。

小学生にも地震・津波の知識を!

今村博士は耐震建築の普及や火災対策などとともに、国民に対する地震知識の普及と向上が不可欠である、とこれまで機会あるごとに強調してきた。その為には、まず小学生の頃から一応の心得を教育するため教科書に分かりやすい地震知識を取り入れる必要があると主張し、その具体化として震災予防評議会の名で、一九二八(昭和三年)、総理大臣をはじめ文部、内務らの各大臣に対して建議書を提出、特に「小学校の課程に地震に関する一文章を加える議」を強調していた。しかし、博士の提案は受け入れられなかった。地震という事項は尋常科という課程では難解であるし、それに他の指導事項が多くて割り込ませる余地もないというのがその理由であった。

一九三五(昭和一〇)年の六月十九日、博士は、文部大臣や政党の総裁を始め政界・実業界の指導者七十余名が集まる日本クラブに招かれて行った「地震のABC」と題する講演の中で、好機とばかりにこの問題を取り上げ、次のように語った。「文部省は地震に関する教材は小学生には無理であり且つ地震のことを入れるスペースもないと言うが、尋常科の教科書を見ている

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意ください。

と、『南洋にはドリアンという果物が出来る。美味しいけれど、とても臭い』と書かれている。こうした記事を入れて余地があるのに、地震国・震災国の小学校に地震の事を教える余地がないとは何と不可解なことと言わねばならない。満場の拍手喝采。それは文部大臣に対して実現を迫る拍手でもあった。その夜のラジオニュースや翌日の新聞（東京朝日）には「地震の国の忘れもの」と報道された。その後、文部省も大臣のお声がかかったので、早速地震に関する一文を加えることになった。

『稲むらの火』の作者 中井常蔵

昭和十年、文部省から全国の小学校教員を対象に新しく修身と国語の教材を公募するとの発表があり、中井常蔵訓導の心を引きつけた。

中井常蔵先生は明治四十年十二月十二日生まれ、広川町の隣町湯浅町山田三ツ橋兼松の三男に生まれ、県立耐久中学校をトップの成績で卒業。その後和歌山師範学校本科を卒業。大正十五年湯浅小学校で指導した後和歌山師範学校の専攻科（英語）に進学、その時の教材として小泉八雲の『A Living God（生ける神）』を学んだ。申すまでもなくこの作品は、安政の南海地震・津波で活躍した濱口梧陵の模様を、外国から来日してきたラフカディオ・ハーンが著述した一篇の英文である。（この英文は一八九七年の著作『仏土の落穂』の中に収められている）

母校耐久中学校創設の濱口梧陵が安政の地震・津波で活躍した内容だけに、その関心は誰よりも強く、その感動を子供の心に焼き付けたいと思い、文部省の国語の教材募集に『燃える稲むら』として応募、見事採用されたのである。文部省は、『燃える稲むら』を『稲むらの火』とし、五年生用の小学国語教材読本（巻十）として昭和十二年度から十年間使用した。しかし、昭和二十年八月の太平洋戦争での敗戦を機に、これまでの学校制度も教科書の編集制度も一新され、教材『稲むらの火』も昭和二二年度に学校現場から姿を消した。

昭和二二年からいつしか三十余年が過ぎ、昭和五八年一九八三年五月二十六日、日本海中部地震（秋田沖地震・津波）が発生（M7.7）。死者一〇四人。中でも、男鹿半島西海岸へ遠足で来ていた合川南小学校生十三人が津波にさらわれて命を失ったのは痛ましいことであった。このことが新聞の記事に載ると、全国から「なぜ、『稲むらの火』を教えていなかったのか？」と、その活用を望む声が高まった。

『稲むらの火』が津波防災における不朽の教材であることが実証され、作者の中井常蔵氏が、昭和六二年の「防災の日」に防災功労者として国土庁から表彰された。

ふる里教育の実践

限られた紙幅の中で梧陵翁の遺徳や偉業は書き尽くせない。私は退職の時期が迫った昭和六〇年代、耐久中学校

に校長として五年間在職。梧陵翁の遺徳・偉業を生徒達に継承しようと、当時としては珍しい「ふる里教育」を実践。その指導の力点は頭（知識）と心（道徳）と体（体験活動）の三領域での活動であった。特に史蹟広村堤防や地域道路の清掃活動等に汗を流して郷土への愛着を高めた。

『稲むらの火まつり』の開催

定年退職後は広川町中央公民館長を命ぜられ、地域文化の充実と向上を目指す活動に関わらせていただいた。その活動の中で、平成十五年から、「稲むらの火まつり」を十月第三土曜日の夕刻より濱口梧陵翁の遺徳の継承と津波防災の一環として開催することとなり、現在に至っている。地元の小・中学校を始め防災関係団体や町民各種団体の協力を得て繰り広げられる約三〇〇本余の松明行列は、見るからに



稲むらの火まつり

圧巻で広川町民の誇りともなっている。とりわけ昨年は「世界津波の日」二〇一八高校生サミット・イン・和歌山に48カ国の海外高校生約二五〇人、引率者四八人、合計三〇〇人も火まつり行列に参加した。稲むらの火まつりの参加者は、合わせて千人近い規模の行列となり、災害に備える決意を新たにしたのである。



稲むらの火の館

プロフィール

昭和18年旧制耐久中学入学
和歌山大学学芸学部（第一期卒業）
有田地方中学校教員
有田地方教育事務所
平成2年広川町立耐久中学校校長
を最後に退職
前広川町中央公民館長
前広川町立耐久大学学長

関西耐久会

関西耐久会・令和特別企画

「濱口梧陵を訪ねて」

6月2日(日) 湯浅駅に10時40分集合。総勢32名の参加となりました。耐久会本部の大西義弘会長(16期)をはじめ、本部役員の方々。有田耐久会・和泉保廣会長(22期)、大阪・兵庫・和歌山各地から皆さん集まっていたきました。

西博義名誉館長・和歌山耐久会長(19期)にお迎えに来ていただき、まずは「稲むらの火の館」へ出発!ここは濱口梧陵記念館と津波防災教育センターとにわかれていて、まずは3Dの映画2本。1本目は、かつての教科書やラフカードイオ・ハーンの小説で伝えられなかった本当のお話です。2本目はドラマで地震が起きたとき、行動時に、約束事を守るといことです。次に、崎山光一館長(20期)からプロジェクトでより詳しく話をうがいました。館長の熱いお話に、参加者一同聞き入りました。「住民百世の安堵をはかれ」住民の永遠なる安全をはかれ。この言葉は何度聞いても心を打たれます。梧陵は復興時における救済措置では、仮小屋建設、架橋等の地域活性化をもたらし、大堤防築

堤においては、広村の子子孫の安全を保障し、被災した村人達の就労および租税免除も兼ねる防災復興事業を成し遂げました。心打たれるばかりです。この会場の棚には災害時の備蓄品が積まれており、説明をうけました。

あつという間に時間が過ぎ、次の訪問先は1852年創立「耐久社」です。ここでお弁当を食べさせていただける事にビックリしました。嬉しい限りです。食べながらお話をしていただき、西名誉館長からお話をしていただきました。小雨が降っていましたが、軒のある耐久社前で記念撮影となりました。次の訪問地である「広の八幡さん」。ここに勝海舟が梧陵を



讀えた碑があるということでもルートに入れました。ここでも詳しく説明を頂き感謝です。最後に日本遺産・湯浅町の街巡りは私の中学時代の同級生、福井さんに案内をしていただきました。面白可笑しく楽しくがモットーですが、かなり勉強になる案内でした。



幹事長 宮崎 裕子

関西耐久会総会のご案内

- 1 日時
令和元年10月27日(日) 11:00~15:00
受付 10:30開始
総会 11:00~11:30
講演会 11:30~12:30
演題:「耐久高校での夢~画期的抗がん剤開発の実現」
講師:酒井 敏行 / 理数科第1期(昭和47年卒)
京都府立医科大学創業センター長
春の紫綬褒章受章(令和元年)
- 懇親会 12:40~15:00
~今年も楽しいアトラクションが盛りだくさん!~
講演「安政救民伝」永楽斎富之丞(高32期)
大好評の故郷の味覚、「なれずし」「金山寺味噌」「しらす」
「アジの開き」は今年も販売します。
「よっしゃ!我こそは!!」という方の飛び入り大歓迎です!!
- 2 場所
アートホテル大阪ベイタワー 4F (旧ホテル大阪ベイタワー)
大阪市港区弁天1-2-1 (ORC200内) Tel 06-6577-1111
- 3 会費 9,000円
- 4 締め切り 令和元年9月30日(月)
- 5 問い合わせ・申し込み先 各期の幹事
または 関西耐久会幹事長 宮崎裕子(高校31期)
TEL 080-2434-6893 E-mail:mikannoheta68@docomo.co.jp

<p>同窓会のご宿泊・ご宴会は有田川温泉へ!!</p> <p>有田川温泉</p> <p>魚茶屋</p> <p>有田市国道42号線沿 Tel 0737-88-5151</p>	<p>総合ビルメンテナンス・特定人材派遣</p> <p>(株)ウイ・キャン・コーポレーション</p> <p>取締役会長 岡 伸彦(高14期) 代表取締役 岡 勇作(高19期)</p> <p>大阪市旭区中宮4丁目14番9号 TEL 06-6954-0346 FAX 06-6954-0577</p>	<p>ペットと泊まるログハウスの宿</p> <p>パートナーズハウスゆあさ</p> <p>横山 享 (高14期)</p> <p>湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411 URL:http://www.partnershouse.jp</p>	<p>田辺法律事務所</p> <p>弁護士 田辺 善彦 (高14期)</p> <p>〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2 TEL 073-431-2801 FAX 073-433-2239</p>	<p>小畑産業株式会社</p> <p>代表取締役 小畑 英三 (高18期)</p> <p>〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地 TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505 ei-kobata@kbts.jp</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

関東耐久会

関東耐久会総会・懇親会開催

関東耐久会総会が定例会場となっております池袋のホテルメトロポリタンにて5月26日開催されました。当日は会員39名、来賓で笹井校長、有田より大西同窓会長、和泉有田会長、和歌山より西会長、関西より地引会長、宮崎幹事長、湯浅町より楠教育長が参加いただきました。毎年受付時間前に先輩諸氏が集合され、混雑をしますので今年も過去の総会等の写真を展示いたしました。漏れてくる声は「わかいなあ」「全然かわらんなあ」「あのころは……」でした。

総会は、校歌斉唱にはじまり、前年度の活動報告・会計報告、本年度の活動計画を報告し、全員の拍手で無事終了いたしました。総会後の講演は37年度卒業の寺田光雄埼玉大学名誉教授による「旧西ドイツは近隣諸国との関係改善にどう務めたか」がテーマで



昨今のEUの情報もからめて話をさせて頂きました。

懇親会では、年次別のテーブル席の設定にしてみました。が、いつのまにか席はバラバラになり毎度のことですが、標準語は消えていきました。途中で司会より先輩諸氏に無茶ぶりでマイクを向けました。が快く近況等の話もいただきました。

関東耐久会も若手の参加が少なく、(50年代が3名です)この記事をご覧になられた関東在住の同窓のお知り合いがおられましたら、ぜひお声掛けをお願いいたします。幹事長 宮井義和(高25期)

高6期

高校6期関東同窓会

延々と毎年継続しておこなっている昭和29年卒業の高校6期関東同窓会を桜花爛漫の4月6日(土)に13名が参加して開催しました。当会は東京・神奈川・千葉・埼玉に在住する6期同窓生の集会ですが、今年は何処からも集まることができずに「東京駅で会いましょう!」と東京駅構内で実施することにしました。



宴会は東京駅最北の「日本橋口」にあるサンピアタワー27階の「天空」でおこない、宴会場から東京駅全景が眼下に広がります。まさに天空の眺望でした。宴会



終了後のコーヒー&ケーキタイムを開業100年を迎えた赤レンガの重要文化財に指定された「東京ステーションホテル」でゆっくり談笑し楽しいひと時を過ごすことができました。

殊に当会の15名のメンバーは7回目の亥年生まれで生憎高齢者になりましたが、まだ一人も逝った人がなく、多少変調があっても遅しくも克服してみんな元気です。これからもこの同窓会を何時までも継続して開催していき、お互いの元気を貰いながら、壮健な人生を構築していければと願っています。

幹事 中村 久和

高校6期3Eクラス会

とき：2019年5月26日
場所：高よしパークホテル
幹事さんからの手紙

耐久3Eクラス会 各位様

集まれば、やっぱり楽しかった3Eクラス会。

老いたりと言えど我が血の温かく乗ってはみたりニア幹線記念写真をお送りします。それでは お互いに健康長寿を祈りつつ

GOOD LUCK.

湯浅 俊



SHIMODE DENTAL CLINIC
医療法人 わかしお会
下出 優 (高・理数2期・S48卒)
下出 輝 (高54期)
下出 歯科
広川町広292-1
TEL (0737) 63-6482

株式会社 地域創生
取締役社長 三角 治 (高25期)
〒643-0801 有田川町徳田183-16
TEL : 0737-22-4950
FAX : 0737-22-4951
E-mail : misumiosamu@aol.com

一般社団法人 絵本まちづくり協会
理事長 三角 治 (高25期)
〒643-0801 有田川町徳田183-16
TEL : 0737-22-3874
FAX : 0737-22-4951
E-mail : sgsc@arida-net.ne.jp

株式会社 柏原運送
柏原 政夫美 (高19期)
〒643-0032 有田郡有田川町天満60-1
TEL (0737) 52-5235
FAX (0737) 52-5630

母校への、ご理解とご支援を!



高5期

「新しい世代への願い」 高校第5期生の集い

傘寿をもちすぎ、卒業時132名の同級生は今も半数の65名になってしまった。諸行無常と云うか生あるもの別れの宿命と云われても、こうして同期生が集まると一番想い出の深い高校時代の友はとても愛しい。

此の日、席を並べ心寄せ合って、共に学び体を鍛え、悩みを語り励まし合った今は亡き仲間、参加者一同心ひとつに黙祷し、友のご冥福を最初に祈った。



平成最後の年末に、範囲を小さく呼びかけたところ、20名(女子14名)の皆さんが集まってくれた。京都、大阪、兵庫は勿論、東京、倉敷からもお元気な姿で駆けつけてくれ、会場は大いに盛り上がった。

先ず、阿瀬誠一郎さんの歓迎の挨拶。張りのある声で参加してくれた皆さんへの感謝と今日集まった意義について話された。次に乾杯の音頭は、船橋から参加して下さった由良出身の川上(旧姓浜上)裕子さんにとってもらって会が始まった。地元

の新鮮な食材とみかんを刳(く)り抜いて中に料理を詰め込む等、工夫された献立に皆大喜びだった。ここ自然の中の癒やしの小宿「栖原温泉」がある湯浅町栖原は、三宝柑の産地で有名で、春を呼ぶ柑橘として皇居に献上されたと云う。又、近くの施無畏寺は、京都高山寺の聖僧明恵上人が修養した場所である。上人は湯浅湾の荇藻(かるも)島で拾った石を生涯膝元に置いて原稿を書かれたという逸話があり、その石は今も高山寺に保存され宝物となっている。

ゆらのさき しほひにけらし
しらかみの
いそのうらみを あへてこぐなり
(万葉集巻九)

これは万葉人が白上の磯から由良へ渡る時に詠まれた和歌である。

この地栖原は江戸から明治時代に活躍された人が多く、栖原角兵衛は江戸で木材や炭で利益を得て、今口シアとの間の課題である北方領土、樺太、千島まで進出、鯨(にしん)や鮭の漁獲量を高め、災害で困る住民も支援した。和歌山にも肥料として鯨を送ってきて有名であった。

又、須原屋茂兵衛は江戸時代の出版業界最大手であり、杉田玄白の「解体新書」や平賀源内など蘭学者の書を支店に出させ話題になった。

また当時から文武両道に励んでいたという昔話の中で、有田高女の木造校舎二階の講堂で相撲部の全国優勝祝賀会があったこと、上野寛監督の話もあった。古い歴史の里で顔を合わせ、昔話や近況を語る時間は半日であっても、明日のエネルギーになると喜び合う。

閉会の辞は宮原の夏見任亘さんをお願いした。100歳時代も夢ではない。「昭和」では貧困に耐え世界第2位の経済大国に関わった誇りと、「平成」では災害多く、神戸淡路大震災、東北の大津波があった私たちは、逆境に負けず絆を強く復興に力を成せる民族。次世代の平和を願って、そして一日一笑の気持ちで生きようと結んだ。

蔵野 圭一

組織強化支援事業

平成17年度より毎年
①卒業後4年を経過した学年
②50歳になられた学年
これら2学年を対象に同窓会開催を呼びかけ支援(案内状に対する経費負担等)を行うもので、毎年大変喜ばれております。

次はあなた達の番です!

- ・高68期(平成28年3月卒業)と
- ・高40期(昭和63年3月卒業)

上記、期の幹事・世話人の方には今から計画・準備をお願いします。すばらしい集会を演出して下さい。

情報ボックス

「おいしいの仕上げは、やさしさのトッピング」
カフェ&ベーカリー オリーブ
有田川町熊井759-1
TEL.0737-52-8565
営業時間/9:00~18:30
(カフェ/9:00~18:00)
定休日/日・月・祝
HP <http://www.wasaren.org/olive/>

醸造元
金山寺みそ ② 垣内みそ店
垣内 欣久(高15期)
本店 湯浅町別所342-1
TEL (0737) 63-5855
和歌山店 和歌山市里45-1
TEL (073) 462-7003

YOMIURI
読売I.C.湯浅
池辺 正晴(高15期)
湯浅町港区2894
TEL 63-2696 FAX 63-3517

蔵野製材(株)
ホームセンタークラノ
蔵野 圭一 (高5期)
蔵野 裕之 (高37期)
湯浅町湯浅2735-1
TEL 0737-63-1161 FAX 0737-63-1162

貸し出し用校章小旗と名札を用意しています。同期会の集いに、ご利用下さい。(事務局)

組織強化支援活動



高39期

32年ぶりの再会 昭和62年卒同窓会

2月9日、橘家において耐久高校昭和62年卒同窓会が、143名の参加のもと、盛大に開催されました。

開会に先立ち、卒業アルバムより作成したオープニング動画が流され、一同は当時のひととときに浸りました。開会の後、実行委員会幹事長、鈴間潔氏（香川大学医学部教授）が、はじめの挨拶を行いました。鈴間氏は、高校卒業後、京都大学医学部に進学され、日赤和歌山病院や長崎大学、ハーバード

大学でも勤務されました。高校時代の思い出は、運動会やロングハイキング、紀三井寺球場での高校野球地区予選の応援など、とても楽しかったと話されました。

続いて、物故者に対する黙祷を行いました。高校卒業後、2人の恩師と9人の仲間が彼岸に旅立ちました。ご冥福をお祈りしながら参加者全員で黙祷を行いました。恩師の先生が3人出席してくださいっておりまして、ご紹介し記念品をお渡ししました。参加してくださいくださった先生は、竹内雅昭先生、小林英世先生、宮本英輝先生です。代表して竹内雅昭先生にご

挨拶をしていただきました。先生は、「生徒集会を始めます」と切り出され、故宮地先生の書かれた「冬来たりなば、春遠からじ」と耐久新聞の記事をお話くださいました。また、卒業アルバムの表紙にある「耐久」の揮毫にも触れられ、歴史ある耐久高校の深い知的営みをご紹介くださいました。

開会の最後に、実行委員会会長、中平孝治氏が乾杯の挨拶を執り行いました。「乾杯」の声の後、宴会が始まりました。最後は、服部直樹氏によるギター伴奏で、校歌を歌いました。♪東雲なびく生石山♪と会場で響き渡りました。卒業後32年ぶりに歌う校歌は格別で、とても清々しいものでした。

閉会挨拶は、実行委員会副会長、橋爪正文でした。参加してくださいすべての人に、感謝の言葉を伝えました。

幹事 橋爪正文

参加者感想

●昨日はほんま楽しかった。一人で行って大丈夫かな？思ったけど、懐かしく思い出されてなんかまた？笑、若返ったわ。皆、元氣そうで何よりでした。

幹事さん、すごい人数の仕切り、ありがとう。ほんまにまたの機会が楽しみ。

●幹事の皆様、ありがとうございました。懐かしいメンバーに会える事が出来て、本当に嬉しかったです。これを機会にまたいろいろな

繋がりが増えて楽しみです。誰かって思われないうちに次回お願いします。お写真もたくさんありがとうございます。

●昨日は本当に楽しかった。記憶と老眼に苦しみましたが、話をしていると忘れかけていた18歳の楽しかった時代が本当にあったんだと実感しました。

鈴間幹事長が夏の紀三井寺予選を印象に残っていると仰って頂けたこと、それだけでも3年間頑張った良かったと感じました。

直樹始め幹事の皆様、諸先生方、会場提供して頂いた橘家様、そして集まった皆様に感謝します。

●昨日はホンマに楽しかったです。よくぞこの大人数が集まったと思います。幹事の皆様、大変やっただと思います。ありがとうございます。喉が痛かったです。帰りに声がかすれて喉が痛かったです。それくらい楽しくお話ししてたんだなあと。また集まる機会があればぜひ参加したいです。

●素晴らしい同窓会を開催してくださいました。皆さまの熱意に感謝いたします。本当にありがとうございます。32年ぶりに皆さんの同級生と再会できたことは、本当に嬉しかったです。たくさん話して、笑って、みんなからたくさんパワーもらって、また明日から頑張るぞ！！って思っています。たくさんアップしてくれた写真は50歳のプレゼントですね。次回も楽しみにです。

ブランド古物買取販売
ストスト
 洋酒、ご自宅にございませんか？
高価買取致します
 洋酒 0120-54-8686
 お問合せ受付時間 11:00~18:00
 〒641-0036 和歌山市西浜875-2 定休日(土・日・祝)

医療法人 若葉会
ながたに歯科
 長谷晋作 (高33期)
 ヨイハニ
 TEL:0737-63-4182
 湯浅町湯浅1456-8
 休診日:木、土午後・日・祝日

金山寺菩提道元
太田久助吟製
 太田庄輔 (高15期)
 〒643-0004 和歌山県有田郡湯浅町北町
 TEL (0737) 62-2623
 FAX (0737) 62-4811

橘家
 Wedding Hall
 TACHIBANA
 橋爪正文(高39期)
 ご予約は
 TEL 0737-88-7005
 FAX 0737-88-7775
 URL http://www.tatibanaya.jp
 〒649-0434 有田市宮原町新町17

同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。(事務局)

絆 書道部の巻

部活OB・OGたちの



耐久高校書道部は、3年生6名、2年生3名、1年生1名の合計10名で活動しています。主な活動として、耐久高校文化祭での展示や、県高等学校総合文化祭での合同作品展の展示などを行っています。基本的には一人ひとりがそれぞれ自分の作品に取り組んでいる書道部ですが、合同作品を制作する際には、全員が協力して一つの大きな作品を作り上げていきます。

さらに、近畿高等学校総合文化祭と全国高等学校総合文化祭の県代表選考会にも毎年出品しており、今年度は3年生1名が和歌山県代表に選ばれ、11月に行われる近畿高等学校学校総合文化祭京都大会

会に出品することになりました。また、毎年夏休みには2泊3日の書道合宿も行っています。この合宿は、県内の書道部員が一堂に会し、個人での練習はもちろん、他校の部員との交流や作品の批評会なども行う大きな行事です。昨年度は高野山、今年度は白浜にて行われました。普段なかなか会うことのできない他校の生徒たちと交流し、切磋琢磨できる貴重な機会となっています。

現在書道部は、文化祭に向けての作品を製作中です。1・2年生が中心となり、人数が少ないながらも、心に残る展示を目指しています。部員たちが全力で取り組んだ作品ばかりとなっており、ぜひ皆さまお越しください。

顧問 花本 麻冬

アコ

平成から令和に変わって四ヶ月。時間の経過とともに「平成」が遠ざかっていく。ある新聞に「あなたの平成」をテーマに「得たものと失ったもの」の世論調査結果が掲載されていた。得たものでは、トップに「家族」、続いて「IT・通信技術」「便利さ」と続いた。逆に失ったものとしては、一番目は同じく「家族」、続いて「心」、三番目には「つながり」という結果であった。

令和の時代には、果たしてどう変化していくのだろうか。たぶん「AI」が世界を席巻し、予想を遥かに超えて私たちの生活の隅々にまで進出しているに違いない。だとすれば、それ以上に「心」や「つながり」が大切にされる

まご

同窓 川柳

- ・青春の想い出映すなぎの海 守法 静子 (高29期)
- ・Eメール着いたかどうか電話する 西井 裕子 (高40期)
- ・カニ食べば手が出る腹出る足も出る 栖原 信子 (高41期)
- ・水鳥の群より離る一羽あり 坂本 康寛 (高18期)
- ・足にからまるビニールのヒモ 池永 義子 (高21期)
- ・夜八時笑顔が集う公民館 ピアノの周りに歌の花咲く

同窓 歌壇

る世の中にならなければ、本当の意味で「豊かで幸せな共生社会」は実現されないのではないかと思うのだが…。

訃報

有田高女同窓会会長、本部同窓会役員として永きにわたりご尽力くださった伏木富紀子様(高女22期)が今春三月三十日にご逝去されました。昭和元年生まれの享年九十三歳でした。

こよなく母校を愛し、特に「有田高女」の生き字引のような方でした。第四十号の特集「有田高女」では歩みや思い出を熱心に語ってくださいました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

『編集後記』

令和元年の夏、冷夏かと思いきやこのところ猛暑日が続いています。元号といえば、明治の一世一元の制以前は、年ごとに目まぐるしく入れ替わっています。例えば橋樑翁は、文政に生まれ、天保、弘化、嘉永、安政、万延、文久、元治、慶応、そして明治と十代、激動の時代を生き抜きました。濱口梧陵生誕200年記念特集(その三)は、清水勲先生に執筆していただきました。「地震・津波防災の継承と創造」と題して、過去の災害の歴史に学び防災意識を高めることの大切さを説かれています。

関西耐久会は、令和特別企画「濱口梧陵を訪ねて」を開催。大阪・兵庫などから32名が湯浅駅に集合し「稲むらの火の館」「耐久社」「湯浅伝建地区」を見学しました。関東耐久会は39名の参加で総会と懇親会を開催しています。

同窓会は、85歳を迎えられた高5期が20名、高6期が15名の参加で開催されました。いつまでもお元気に頑張ってください。高39期は、143名の盛会。働き盛りの50歳が一堂に会しました。ますますのご活躍を期待します。

